

あなたの組織は、判断できる状態になっていますか。

6つの質問で「判断の現在地」を簡易チェック

個人の能力ではなく、仕事の中に「判断できる条件」があるかを確認します。

採点 はい 2点 / どちらともいえない 1点 / いいえ 0点



1 見る力

何を見て、何を見落としているか

1 判断する前に、確認すべき事実が決まっている。

はい どちらともいえない いいえ

2 判断に必要な情報が、人によって大きく変わらない。

はい どちらともいえない いいえ



2 決める力

どこまで自分で決めているか

3 自分で決めてよい範囲が、本人と上司で共有されている。

はい どちらともいえない いいえ

4 迷ったとき、どの条件で相談するかが決まっている。

はい どちらともいえない いいえ



3 基準の質

何を基準に判断しているか

5 何を優先して決めるかが、言葉になっている。

はい どちらともいえない いいえ

6 結果や相手の反応をもとに、判断基準を見直している。

はい どちらともいえない いいえ



合計点から、大まかな現在地を確認

9~12点

判断できる条件が、比較的整っています。

5~8点

部分的に整っていますが、人や場面による差があります。

0~4点

個人の経験や上司確認に依存している可能性があります。



より詳しく知りたい方へ

この簡易版でわかるのは、組織全体の大まかな傾向です。

詳細版「判断の現在地診断」では、

- 部署・役職・経験年数別に可視化
- 判断が止まりやすい箇所を特定
- 最初に整えるポイントを提示

詳細版について問い合わせる →

お問い合わせ

request@requestgroup.jp